

平成25年3月4日

都道府県山岳連盟（協会）

理事長 殿

指導委員長 殿

社団法人 日本山岳協会

指導委員会

委員長 永井 豊

（公印省略）

平成25年度 氷雪技術に関する指導員の教育と研修
及びA級・B級主任検定員養成講習会・上級指導員養成講習会の実施について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より日山協の指導者育成並びに研修活動にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて指導員の教育と研修事業の一環として、氷雪技術研修会及びA級・B級主任検定員養成講習会・上級指導員養成講習会を下記要領で実施致します。

実施要項の詳細は、別紙添付の通りになっております。この機会に是非多くの指導者に参加して戴きます様お願い申し上げます。

A級・B級主任検定員の登録期間は4年となっており、常に新しい技術、指導基準にもとづいて指導・検定をしていただくため、4年以内に最低1回はA級主任検定員養成講習会に参加し研修していただくことになっています。有効期限が2014年3月31日の認定者はA級・B級主任検定員養成講習会に参加して更新登録して下さい。

また、今年度から上級指導員養成講習会を「氷雪（登攀）技術に関する指導員の教育と研修」と同時に中央主管で実施し、資格取得の便宜を図り指導員の充実していきたいと思っております。登攀・氷雪共参加と論文・基礎理論の課題解答を提出し、すべての評価に合格すれば上級指導員養成講習会の専門科目修了書が発行され、上級指導員養成講習会専門科目の所定科目が免除されます。

謹白

記

1. 期 日 平成25年4月28日（日）～29日（月）
2. 場 所 山梨県富士山吉田大沢五合目周辺及び佐藤小屋
3. 集 合 平成25年4月28日（日）10:00 富士急行・富士山駅改札口
4. その他 (1) 実施要項及び申込みは別紙添付を参照して下さい。
(2) A級・B級主任検定員について
昨年度より「公認山岳指導者関係規程規約」が改訂され、B級主任検定員として指導員養成講習会・検定会限定で公認山岳（AC）指導員資格でも主任検定員として検定評価ができるようになりました。従って現在の主任検定員（B級A主任検定員資格者は除く）A級主任検定員と名称が変更されます。

平成25年度 氷雪技術研修会及びA級・B級主任検定員・上級指導員養成講習会開催要項

I 共通事項

1 集合場所

- ・4月28日(日) 10:00
- ・山梨県・富士急行富士山駅改札口
- ・アクセス ①中央道・大月JCT～河口湖IC～国道139号線～富士急行富士山駅まで10分
②東名道・御殿場IC～国道138号線～東富士五湖道須走IC～河口湖IC～国道139号線～富士急行富士山駅まで10分
③JR中央線新宿駅～大月駅～富士急行富士山駅

2 参加費

- ・10,000円

3 研修・講習場所

- ・山梨県富士山吉田大沢五合目周辺及び佐藤小屋

4 日程

- ・4月28日(日)
10:00受付、10:30～(富士スバルライン、バス・タクシー)五合目～13:00佐藤小屋、
13:00～17:00オリエンテーション後机上講習及び屋外実技講習(研修)
- ・4月29日(月)
7:00～14:00屋外で実技研修・講習
14:00～15:00 研修・講習のまとめ、終了後解散(佐藤小屋にて)

5 宿泊

- ・山梨県富士山吉田口五合目佐藤小屋(現地連絡先) 0555-22-1945 携帯 090-2525-2634
- ・1泊2食付 8,000円(懇親会費別途)

6 装備品など

- ・参加者は冬山登山に適した服装・装備及び次のものを準備して下さい
 - ①1日目から2日目の昼食(行動食)と非常食
 - ②冬山登攀用具一式、綿上衣(制動確保用)、洗面具、筆記用具等
 - ③B級主任検定員養成講習会参加者はロープ、ハーネスは不要

7 申込み

- ・参加申込書に必要事項を記入捺印し、4/15(月)まで日山協事務局(指導)宛に郵送またはFAX
(受付時に本書を提出)にて送付
- ・Fax 03-3481-2395

8 その他

- ・各自山岳保険に加入する
- ・参加者には受講案内及び研修・講習要領を送付する
- ・派遣要請書の必要な方は、申込書にその旨をお書き下さい

II 研修会

1 参加資格

- ・公認スポーツ指導者または所属岳連（協会）会長より推薦され雪山登山経験を有する者

2 研修内容

- ・雪上基礎技術
- ・隔時登攀（スタンディングアックスビレイ等）における支点の構築、確保技術
- ・セルフレスキュー等の問題点を検討する

III A級主任検定員養成講習会

1 参加資格

- ・上級指導員以上で検定、または冰雪技術講習会で講師の経験があり、岳連（協会）会長より推薦され者及び登録更新者

2 講習内容

- ・個々の技術講習ではなく、検定経験者およびこれから検定に携わるための方法を確認
- ・指導者に関する基準規約、養成講習会システム、体協との関わり、評価方法等

3 検定

- ・実技、指導法の評価

4 レポート（2000字程度）

- ・課題1『自分の経験に基づいて、検定評価について述べよ』
- ・課題2『指導者の養成方法について述べよ』（検定実績がない方）
- ・検定会履歴書及び講習会指導履歴書（様式自由）を参加申込書に添付して下さい（e-メールにて提出のこと）
- ・登録更新者はレポート免除

IV B級主任検定員養成講習会

1 参加資格

- ・指導員以上で検定又は雪山技術講習会で講師の経験があり、岳連（協会）会長より推薦され者

2 講習内容

- ・個々の技術講習ではなく、検定経験者およびこれから検定に携わるための方法を確認
- ・指導者に関する基準規約、養成講習会システム、体協との関わり、評価方法等

3 検定

- ・実技、指導法の評価

4 レポート（2000字程度）

- ・課題1『自分の経験に基づいて、検定評価について述べよ』
- ・課題2『指導者の養成方法について述べよ』（検定実績がない方）
- ・検定会履歴書及び講習会指導履歴書（様式自由）、直近5年間の山歴（雪山・岩を含む）を参加申込書に添付して下さい（e-メールにて提出のこと）
- ・登録更新者は課題レポート免除

v 上級指導員養成講習会

1 参加資格

- ・ 25歳以上で所属岳連（協会）会長の推薦をうけた者。3000m級山岳地域において積雪期登山および4級以上の岩壁登攀のリーダー候補者に指導できると判断された者
- ・ 公認山岳指導員・スポーツリーダーは共通科目Ⅰ免除、Ⅱ受講
- ・ 無資格者は共通科目Ⅰ・Ⅱ受講

2 講習内容

- ・ 日体協オフィシャルブック「山岳上級指導員」カリキュラムによる
- ・ 日山協公認山岳指導者検定基準（AC）上級指導員による
- ・ 技術、指導法の確認と検定評価の方法等

3 検定

- ・ 実技、指導法の評価
- ・ 論文・理論課題は別途提出（通知）

以上

社団法人 日本山岳協会会長

神崎 忠男殿

平成 年 月 日

山岳連盟 (協会)

会長 印

日山協・研修会及び養成講習会受講申込書

登攀技術研修会・氷雪技術研修会・主任検定員養成講習会 (A級・B級)・上級指導員養成講習会		
開催場所 (大山 ・ 富士山) (何れかを○で囲む)		
フリガナ 氏名	性別 男 女	写 真 35×45
生年月日	19 年 月 日 満 歳	
連絡先	〒 住所	
	Tel Fax	
	携帯 E-mail	
勤務先	名称 電話	
所属団体	名称	
	所在地	
	代表者名	
公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者資格 (何れかを○で囲む)		
スポーツリーダー・指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチ・その他 ()		
登録番号 ()		

※主任検定員養成講習会 (A級・B級)に参加の方は、レポートと共に、過去に検定した検定実績一覧 (様式自由)を別途添付して下さい。この場合、主任検定員か、一般検定員かも明記して下さい。

上記個人情報は本目的以外には使用しません。